

2019年度 公認野球規則の改正について

2019年度は12項目の改正が行われましたが、その多くは文言の追加、削除、改正が主で大幅な規則改正はありません。

本連盟に係る事項は以下のとおりです。

(1) 3.01 ボール

軟式野球の使用球が変更されることによる改正です。

M号は一般用、『J号』D号は少年用で、、、とあり、学童はC号→『J号』に変更されます。

(連盟 注)

公認野球規則ではM号は一般用、『J号』は少年用と記載されているが、軟式野球連盟ではM号は一般用と少年用です。『J号』は学童用です。

(2) 4.08 (c) ダブルヘッダー

当連盟では原則としてダブルヘッダーは行いません。

日程上、やむを得ずダブルヘッダーを行う場合は別に定めます。

(3) 5.07 (b) 投手の”準備投球”

投手の準備投球の時間、球数の制限を解くものですが、運用に関しては各団体(連盟)に委ねられています。

当連盟では原則として従来とおり、1分以内、7球以内とします。

(4) 5.09 (c) (1) 【原注1】 アピールプレイ(走者アウト)

走者が正しいリタッチ(タッチアップ)をしないで次の塁に進んだ場合、アピールがあれば走者はアウトになるが、走者が塁の後方からスタートして、走りながら塁に触れて次塁へ進もうとするいわゆるフライングスタートした場合でも通常のリタッチと同様守備側のアピールがあつて始めてアウトが宣告されることが明文化されました。

→ 運用上は従来と変わりありません。

(5) 5.10 (1) 監督が投手のもとへ行ける回数

監督が投手のもとへ行ける回数の制限ですが、運用上は従来と変わりありません。

(連盟 注)

学童・低学年の部は、試合イニングが5回ですので、監督が投手のもとへ行ける回数は2回です。(少年の部と学童・高学年の部は各々3回です。)

- (6) 5. 1 0 (1) 【原注】 リリース投手の準備投球
前述の(3) 5. 0 7 (b) に準ずる。
- (7) 5. 1 0 (m) マウンドに行く回数の制限
本項はメジャーリーグで適用されるもので、当連盟には関係ありません。
- (8) 6. 0 1 (a) (5) 【原注】 アウトのなったばかりの打者または走者の妨害
アウトになったばかりの打者または走者による妨害に関する規則改正ですが、
これまでの解釈に変更はありません。
- (9) 7. 0 3 (a) (7) フォーフイッテッドゲーム(没収試合)
没収試合の条件を明確にしたものですが、一般的にアマチュア野球では発生しません。
- (10) 8. 0 2 (b) [注1] の削除
アピールについての記載ですが、5. 0 9 (c) に記載があるので削除されました。
- (11) 8. 0 2 (c) 投球カウントの訂正
投球カウントの誤りの訂正について定めたもので、運用上は従来と変わりありません。
- (12) 定義4 4 (d) 観衆の妨害に関する改正
観衆の妨害について具体的に記載されましたが、運用上は従来と変わりありません。

以上